

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年5月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100169
法人名	有限会社 ふれあい企画
事業所名	グループホーム ふれあい
所在地	鹿児島県霧島市隼人町小浜3070番地 (電話) 0995-43-0716
自己評価作成日	平成24年4月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年4月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

始良市の町、錦江湾と一望できる高台にある。施設付近には、桜の木やイチョウ・もみじがたくさんあり、花見や紅葉を楽しむことも夜には夜景も楽しむことが出来る。また、東屋を設置しており地域の方が利用したりして交流の場である。管理者・職員は毎朝朝礼時に理念(個人の尊重と寄り添う介護の実践・家族との絆を大切に地域づくりを推進する)と行動指針・コンプライアンスルールを念頭に置き、毎朝朝礼時に唱和して、介護に取り組んでいる。そして、ホームの一番大きい行事では、花見・夏祭りを開催し、利用者様・ご家族様・職員・地域住民で歌を唄ったり、踊ったりと楽しいひと時を過ごし、全員が思い出に残っている。日常生活でも、ホーム内に畑があり、利用者様と一緒に野菜や花を植え収穫し楽しんでいる。利用者様から職員が学ぶ機会でもある。月に1度、理学療法士が来られ利用者様が安全で安心した生活が送れる様にリハビリにも取り組んでいる。また、利用者様・職員が相談出来るように心理士カウンセラーを配置した。これからも、笑顔が絶えないホームであり、利用者様・ご家族様・職員が絆を深め、その人らしい生活が送れるように日々努力して介護に取り組んでいきたい。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、介護付き有料老人ホームとグループホームの4ユニットから成っており、全体で「ふれあいホーム」と称している。
- ・事業所理念をより具体的にしたユニット毎の独自の理念が作られており、利用者の意向に沿うことを大事にするケアの実践に努めている。
- ・日常生活では、外出支援やレクリエーションを行っている。ユニット毎に一緒に楽しむ食事作りが工夫され、それぞれが家庭としての雰囲気醸し出されている。
- ・災害対策では避難用の滑り台が設置され、夜勤者5名による夜間想定避難訓練が実施されると共に、「利用者の避難誘導の順番と避難誘導の仕方」が各ユニットの出口に貼られる等、利用者の命を守る取り組みも進められている。
- ・利用者へ訪問診療や訪問リハビリを行っている。利用者及び職員の相談で心理士カウンセラーを配置している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設理念(個人の尊重と寄り添う介護の実践・家族との絆を大切に地域作りを推進する)ユニット理念(その人のありのままを知り、受け入れ、その人らしい生活が出来る場を提供します)を提示し、毎朝申し送りの後、理念の唱和をしている。職員も日々の業務において理念を意識しながら取り組んでいる。	施設理念と共に、各ユニットの理念を作って掲示し、日々の朝礼時の唱和によって、職員の理念の共有化と実践への意識付けを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域行事の初午祭・夏祭り・棒踊りなどに参加し、ホームの行事でも花見・夏祭りには地域の方も参加している。	地域住民とは、散歩時の挨拶や野菜の差し入れ等の日常的な交流をしている。また、地域及びホームの行事に相互に参加する等、年に数回はイベントでの交流を行ったり、地域住民の介護相談も受けている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の民生委員や公民館長と連携をとり、介護相談を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議を実施し、取り上げられた検討事項(各ユニット報告・行事報告・事業所報告・これからの予定報告)を行い、意見をもらいながらサービスの向上に生かしている。	運営推進会議は定期的に行われ、ホームからの外部評価結果を含めた状況報告の他、テーマを決めて意見交換を行い、サービスの向上に活かしている。また、より一層、利用者の意向に沿ったケアを行うために、利用者の参加についても検討中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃から市職員と困った事例について、相談したり市町村の開催する福祉祭りの準備や大会に参加したり介護相談員からの情報を交換しサービスの質の向上に取り組んでいる。	市の担当職員とは、常時、運営上のことを相談するほか、介護相談員の受け入れや市主催のイベントへの協力や研修会参加等を通して、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルを作り、全体研修やミーティング等で身体拘束に関する研修を行っている。また、毎朝身体拘束はしないと唱和し職員全員が理解を毎日深めケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止については、研修等を通じて全職員が理解を深め、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアを行っている。また、利用者が外に出る場合は付き添って見守るようにしている。また、家族に対しては、ホームの方針について、理解を得るように対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作り、全体研修やミーティング等で高齢者虐待防止法に関する研修を行い職員同士でも常に注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護については、毎朝唱和している。成年後見制度は研修を行った。必要に応じて管理者が市役所に相談する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間をとり、十分な説明をしている。事業所理念や利用料金、退去時の取り決めなど話し合い同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に2回介護相談員を派遣してもらい利用者の相談に乗って頂いている。利用者の立場に立った意見を頂き、運営の参考にしている。そして意見箱の設置や家族会を年に2回行い意見や要望などを運営に反映してるが意見箱の活用はされていない。	家族会を全体会と各ユニット毎で開催し、思いや意見等を聞いている。また、利用者の要望等については、日常のケアの中や介護相談員からの情報で把握に努めて、運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回の代表者会議で、管理者、ケアマネ、主任と話し合い意見や提案を聞く機会を設け、職員に申し送ったり、ミーティング時、管理者が出席し、意見や要望を聞くと共に、日頃から職員とコミュニケーションを図る様にしている。	管理者は各ユニットのミーティングに参加するほか、食事会や個別の機会を設けて職員の意見を聞くように努めている。毎月の代表者会議で職員の意見を反映させている。また、職員相談のために、心理士カウンセラーを配置している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格所得に向けた支援を行い、所得後は本人の意向を重視しながら職場内で生かせる労働条件作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修を1～6か月かけて行い事業所内の研修では、アンケートを取り基礎や技術、また事例発表など様々な研修を行っている。外部研修では、なるべく多くの職員が参加できるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>始良・伊佐地区のグループホーム協議会と霧島市地域密着型サービス事業者連合会に加入しており、研修会をしたり、グループホームの交流をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前の面談で具体的な入居前シートにて、生活状態を把握するよう努め、ご本人の求めている事や不安を理解しようと工夫している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>これまでの家族の苦労やこれまでの経緯について話を聞き、次の段階の相談までつなげている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、本人や家族の思いや状況を確認し信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様は人生の先輩であるという考えを共有している。職員は一緒にお茶を飲んだり、ご飯を食べたり、料理をしたり、掃除をしたり、散歩をしたり、買い物に行ったりと支え合う関係を作っている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の様子や職員の思いを細かく伝えている。また、遠足や誕生日会・花見・夏祭りイベントにも参加してもらう事で家族との信頼関係も深まり一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力をもらい、本人の行きたい所に行けるようお願いしたり、本人の希望を参考にしながらユニットの遠足などを行っている。	本人の希望によって、家族や職員同行で、馴染みの理美容院の利用や自宅周辺や慣れ親しんだ場所の散歩・ドライブ等を行っている。また、家族の協力を得て、知人等と話をする機会を設け、関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日時間があるときは、職員も一緒に多くの会話を持つようにしたり、役割活動を通じて利用者同士の関係が円滑になるよう、職員が調整役となって支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関わりを必要とする利用者様や家族には関係を断ち切らない付き合いを大切にしていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションをよく取り信頼関係を深め、利用者様の本音を聞きニーズの把握に努めている。また意思疎通の困難な方には、家族や兄弟関係者から情報を得ている。	入居前の訪問面接時に、本人や家族等から聞き取った要望や生活歴等をもとに、日々のケアの中で把握に努めている。意思疎通の困難な利用者には、職員で話し合い、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前より本人、家族、関係者等から聞き入れるようにしている。入居前シートにて、本人や家族にどんな生活をしていたのかを聞いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	今までの1日の過ごし方、心身の状態、残存機能、ADLを把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、反映している。職員にはミーティングで、本人の状態など意見交換をモニタリングで行っている。	利用者のニーズについて、ミーティングで検討し、日々のケアで把握した本人や家族の意見を反映した介護計画を作成し、家族へ説明している。入居後1ヶ月でアセスメントし介護計画を見直している。その後は、3ヶ月毎にモニタリングを実施している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>食事量、水分量、排泄表などの記録を行い、ケア記録に日々の暮らしの様子や本人の言葉などを記載している。またケア記録に介護プランのニーズを書いてもらい、介護計画の見直し評価している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況や希望に応じて受診や送迎など必要な支援は柔軟に対応し支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者が安心して地域で暮らしを続けられるよう、民生委員、消防など協力しながら意見交換する機会を設けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医の他、本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。月に1度訪問診療があり、受診や通院は本人や家族の希望に応じて対応している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医や協力医の受診支援を行っている。受診や訪問診療により、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員がおり、健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院によるADL低下、認知症の進行などのダメージを極力防ぐために、医師と話をする機会を持ち、出来るだけ早急に退院出来るように努めている。また入院された時も頻繁に職員が顔を出すようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化に伴う意思確認書を作成し、事業所が対応し得る最大のケアについて説明を行っている。</p>	<p>医療連携体制と重度化における指針に基づき、重度化及び終末期における事業所の対応について説明し、重度化に伴う意思確認書をもっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成し消防署立会いのもと、応急手当の勉強会をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て、年に3回の地震災害避難訓練を夜間想定でしている。また避難経路の確認や消火器の使い方通報装置の使い方滑り台の使い方など定期的に行っている。しかし近隣住民は高齢で協力が厳しい現状である為、近隣に住む職員も含めた訓練や、夜勤者5名が協力し話し合い、助けあう訓練をしている。また、始良市の協力やスプリンクラーの設置を行った。</p>	<p>年3回、地震災害避難訓練を消防署の指導のもと夜間想定で実施している。消火器や通報装置の使い方の訓練を行っている。2階は避難用滑り台が設置されており、スプリンクラーもある。近隣の職員の協力体制がある。災害用の備蓄は早急に準備するよう検討中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	新人研修、全体研修、ミーティングなどの時に職員の意志の向上を図ると共に利用様の誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。記録物の管理も適切に行っている。	利用者の尊厳とプライバシーの確保について、職員は研修等で意識向上を図っている。トイレ誘導する場合も周囲に気づかれないような言葉かけ等を行っている。また、入室時のノック等、プライバシーに配慮した対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員側で決めたことを押し付けず、一人ひとりの利用者様が自分で決める場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ユニット理念にもあるように、その人らしい生活が提供出来るように利用者様のペースに合わせて、業務より利用者様の声を大事にして希望に添った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様に着る洋服を選んで頂いたり、行事のある時はおしゃれや化粧をして楽しんでもらえるよう支援している。また、月に1回理容師が来られカットしていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に1回、メニューは利用者様と相談しながら作り盛り付け、片付け、調理と利用者様と共に行い職員と利用者様がテーブルを囲んで楽しく食事出来るよう雰囲気づくりを大切にしている。	献立をユニット毎に、週1回、職員と利用者で話し合い、食材を決めたり、一緒に調理の準備をして、希望のものを作って食べる等、食事が楽しみなものになるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分量摂取を毎日チャック表に記録し職員が情報を共有している。栄養士による栄養バランスも完備している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きの声かけを行い、力に応じ職員が見守ったり介助している。就寝前には入れ歯のポリデント消毒をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>利用者様の排泄時間を把握しトイレ誘導している。リハビリパンツだった方も下着に尿取りパットで対応している。また失敗した場合も本人が傷つかないように配慮している。</p>	<p>排泄パターンを把握し、トイレ誘導により、昼間のオムツ使用者はいない。積極的に排泄の自立支援に取り組んでいる。誘導や失敗時の声かけは、プライバシーに配慮してさりげなく行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>繊維質の多い食材や乳製品を取り入れ、散歩、体操など身体を動かす機会を作り、自然排便が出来るように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を拒まれる利用者様には、入りたいときに入れるようにタイミングをみて声かけをしている。また利用者様のその日の希望を確認し、入って頂いている。	入浴剤を使ったり、音楽を聴きながら、楽しくゆっくり入浴できるようにしている。入浴を拒否する利用者には、職員を交代したり、時間をずらして声かけする等の工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めている。また、一人ひとりの体調や表情、希望など考慮し、ゆっくり休息がとれるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方箋のコピーを整理し職員が内容を把握出来るようにしている。服薬時は本人に手渡し、服用したか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を発揮してもらえるようお願いできそうな仕事を頼み、感謝の気持ちを伝えるようにしている。食事作り、ちり紙折り、お盆拭き、洗濯物たたみ、洗濯物干しなどの手伝いをお願いしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は、日常的に散歩に出かけ遠足やドライブでは希望を聞き、お弁当などを持って園外へ出かけている。	日常的に、散歩を兼ねて東屋でお茶を楽しんだり、利用者の希望によって個別の散歩に出かけている。また、車椅子対応車でのドライブや弁当を持っての遠足等を家族の協力を得て、外出支援を行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の協力を得て、小額のお金を持っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族等に電話のしやすい雰囲気づくりや年賀状などを出す支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアの飾り付けは、季節やイベントで変えている。家具などは利用者様が居心地の良い場所であるようソファや机など工夫して配置している。また、家族に協力してもらい馴染みの物を居室に置き居心地良く過ごせるようにしている。</p>	<p>ホールや廊下にはソファが置かれ、利用者が思い思いに過ごせるように配慮されている。また、トイレは車椅子の利用者も安心して使用できるよう、引き戸で十分な広さがあり段差もなく、全体的に居心地のよい共用空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールには長椅子を置き1人で過ごされたり、玄関前にベンチや東屋を作り、利用者同士でくつろげるスペースを作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様の好みの物等を生活スペースに合わせ安心して過ごせるように配慮してある。</p>	<p>それぞれの部屋が個性的に配置されており、馴染みの物や好みの物を飾り、落ち着いた居心地のよい雰囲気作りがされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様の状態に合わせて、手すりや浴室、トイレ、廊下などの居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない